

～電気パネルヒーターからの出火に注意～

令和4年10月にスティーベルエルトロン社製の電気パネルヒーター（以下「パネルヒーター」という。）から出火する事案が発生しました。機器内部で使用されているステンレス製のSUS管及びアルミ製のフィン、設置状況、吸込み口を含めた清掃の有無や使用方法や環境の差異に伴いますが、温度変化によって寸法の変化が起こります。これらの状況により、機器内部で自然放熱が阻害され、SUS管の温度上昇から局所的な破断の発生、破断部から絶縁材として使用しているマグネシアが噴出した物が火花として機器外部に影響を及ぼす場合があります。

火災が発生した建物には出火したパネルヒーターと同型品が220台設置されており、そのうち7台は出火に至ってはいませんが、変形がみられております。販売期間は2008年10月～2018年11月。

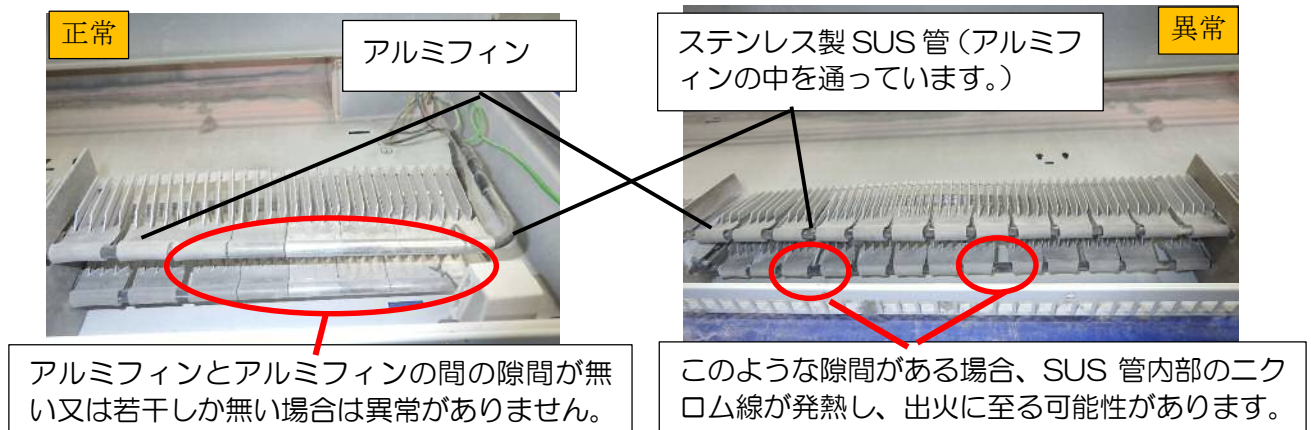


【出火したパネルヒーター】

スティーベルエルトロン社製
UJシリーズ（200V仕様）
CNS-300UJ

※ UJシリーズ CNS-50UJから250UJは内部の構造が同じため変形がみられています。

出火したパネルヒーター内部



日本スティーベル株式会社の現在の対応

販売元である日本スティーベル株式会社のホームページに下記のとおり注意喚起が載せられています。

- ・ 2か月に1度程度、機器が冷えている状態でほこり等を掃除機等で取り除いてください。
- ・ 4年に1度を目安に施工業者、または日本スティーベル株式会社に機器の点検（有償）をご依頼ください。
- ・ 機器の前面パネルに変色等がある場合は、速やかに機器の使用を中止して、機器の点検をご依頼ください。